平成１４年１１月２６日

平成１５年３月期連結中間決算の概要について

シロキ工業株式会社

（輸送用機器　東証、名証第１部上場）

平成１５年３月期連結中間決算につきまして概要をご説明させていただきます。

（個別につきましては１０月２９日に発表をしています。）

１、　連結中間決算概要について

［国内外での売上伸張で過去最高の売上高］

●当社の連結対象子会社は国内６社、海外５社の計１１社で、他に持分法適用関連会社が３社あります。前年同期比で海外の連結対象会社が１社増となりました。これは本年１月、シロキタイランド（株）をタイに設立したからです。また持分法適用関連会社も１社増え、これは本年２月､独のブローゼ社と合弁でシロキ･ブローゼ（株）を豊橋市に設立したものです。

●上半期の連結売上高は過去最高で、前年同期比１１．８%増の５４１億５千２百万円で、５７億２千１百万円の増収となりました。また5月２８日に発表した期初予想（４９９億円）に対し４２億５千２百万円の増、８月２６日の修正発表値（５３０億円）に対しても１１億５千２百万円の増となりました。

●増収の主な要因は、シロキ工業と北米生産子会社のＳＷマニュファクチャリング（米国テネシー州）の売上増によるものです。シロキ工業は得意先の輸出好調に伴う生産増と拡販活動によるシート機能部品などの受注増による売上増（２９億２千７百万円)、ＳＷマニュファクチャリングでは本年１月よりドアサッシの生産を新たに開始したことや、トヨタ自動車の販売が好調に推移し生産が増加したことなどによる売上増（３１億６千６百万円）です。

［合理化効果などにより利益も過去最高］

●利益につきましてはいずれも過去最高となりました。営業利益は前年同期比１３６．３%増の２３億５千６百万円で、１３億５千９百万円の増益とすることができました。経常利益も前年同期比１４２．２%増の２２億３千１百万円で、１３億１千万円の増益となりました。

●連結中間期実績

上段当中間期・下段前年同期

①　売上高：
５４１億５千２百万円
４８４億３千１百万円
（前年同期比１１．８　%増）

②　営業利益：
２３億５千６百万円
９億９千７百万円
（前年同期比１３６．３　%増）

③　経常利益：
２２億３千１百万円
９億２千１百万円
（前年同期比１４２．２%増）

④　中間（当期）純利益：
１０億１千６百万円
１億２千９百万円
（前年同期比６８３．１%増）

●主要会社の売上と利益

上段当中間期・下段前年同期

シロキ工業

①売上高
４２４億８百万円
３９４億８千１百万円
（前年同期比７．４%増）

②営業利益
１６億２百万円
４億９千７百万円
（前年同期比２２２．３%増）

③経常利益
１５億２千５百万円
４億２千２百万円
（前年同期比２６１．２%増）

④中間純利益
５億１千８百万円
△１億６千６百万円

また期初予想（１５億円）に対しては７億３千１百万円増、修正予想値（２０億円）に対しても２億３千１百万円増となりました。
●増益要因は、主としてシロキ工業とＳＷマニュファクチャリングの売上増加による増益効果と、原価改善活動などによる合理化効果です。

［最終損益１０億１千６百万円で過去最高］
●最終損益につきましては、特別利益で５百万円、特別損失として退職給付費用３億４千万円、財務体質強化のため固定資産除却損として１億８百万円など９億３百万円を計上いたしました。この結果中間純利益は前年同期比６８３．１％増の１０億１千６百万円で、８億８千６百万円の増益となり、過去最高となりました。期初予想（７億円）に対しては３億１千６百万円、修正発表値（１０億円）に対しても１千６百万円増となりました。

２、上期の取り組みについて：

●弊社では厳しい経営環境のなか、全社を挙げて収支改善活動と業務改革に取り組むとともに、中期経営計画（０１～０５年度）を基に構造改革を着実に進め、企業体質の強化をはかりました。上期に実施した主な取り組みは次の通りです。

１、事業のグローバル展開の推進

アジアでの生産・供給体制を強化するとともに、世界４極市場対応を加速しました。

①シロキタイランド（タイ）の事業推進
・１２月操業開始（第１ステップ）にむけ生産準備を進めました。
・９月に現地新工場建設を決定し、１２月より工事開始０４年より本格操業開始の予定です。（第２ステップ）

②「中国推進チーム」の設置
・当社ＰＪ推進部内に「中国推進チーム」を設置し、中国への進出について本格的な検討を開始しました。
・１２月に結論を出す予定です。

③ブローゼ社（ドイツ）との協業推進

ＳＷマニュファクチャリング
①売上高
１１１億８千６百万円
８０億２千万円
（前年同期比３９．４％増）
②営業利益
５億６千６百万円
１千万円
（前年同期比５６．６倍増）
③経常利益
６億７千５百万円
２億６千４百万円
（前年同期比１５５．７％増）
④中間純利益
６億７千６百万円
２億４千１百万円
（前年同期比１８０．５％増）

●海外売上高
上段当中間期・下段前年同期

１１３億５千６百万円
８２億３百万円

●海外売上高比率
上段当中間期・下段前年同期

２１．０％
１６．９％

●設備投資額
（百万円）（前年同期）
上期実績
３，４８０（２，３０３）
通期予想
５，３３３（５，６６７）

●減価償却費
（百万円）（前年同期）
上期実績
２，５７９（２，５３３）
通期予想
５，５８４（５，３８３）

２、生産品目・生産拠点の見直し

①生産品目を主力５製品に特化

・経営資源の集中化により、高品質・高機能・低コストの世界ＮＯ．1製品づくりを進め、競争力を高めるとともに、５大製品の世界４極市場への対応をはかりました。

②九州シロキ（北九州市）の操業開始

・７月に操業を開始し、九州地区での受注拡大に対応するとともに、国内生産拠点の最適化をはかりました。

３、　期業績予想について

［売上、利益ともに過去最高を予想］

●通期業績予想につきましては、売上高は前期実績に対し８．３％の増の１０８０億円で８２億３千３百万円の増収、営業利益は４８．１％増の４７億円で１５億２千７百万円の増益、経常利益は２８．７％増の４４億円で９億８千万円の増益を予想しています。また当期純利益も１９．７％増の２０億円で３億２千９百万円の増益と、売上高、利益ともに過去最高を予想しています。

●連結通期予想
（上段予想、下段前期実績）

①売上高：
１０８０億円
９９７億６千７百万円
（前期比８．３％増）

②営業利益：
４７億円
３１億７千３百万円
（前年同期比４８．１％増）

③経常利益：
４４億円
３４億２千万円
（前期比２８．７％増）

④当期純利益：
２０億円
１６億７千１百万円
（前期比１９．７％増）

●１株当り予想当期純利益
（上段予想、下段前期実績）

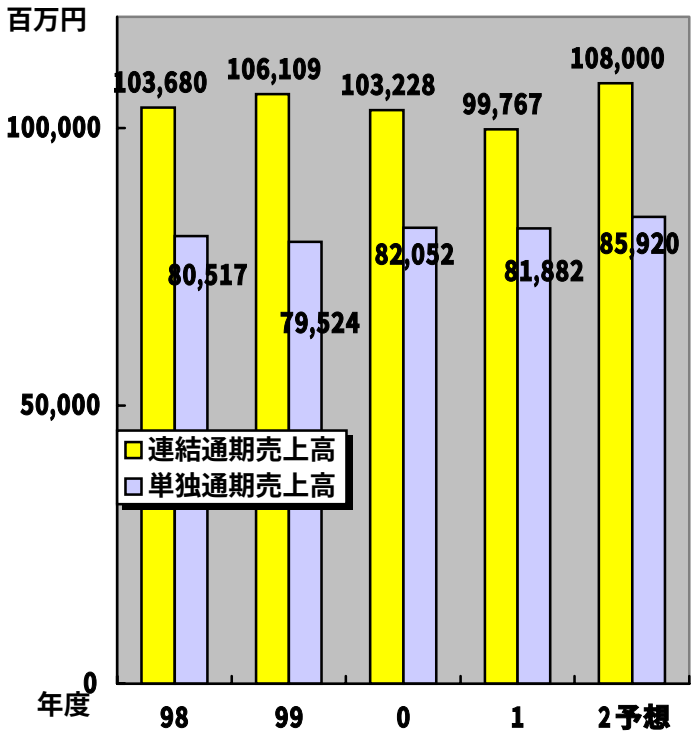
２２円５０銭
１８円７９銭

シロキ工業株式会社　（０５３３）８４－４６９１
●この件のお問い合わせは　：　経理部長　大石勝美

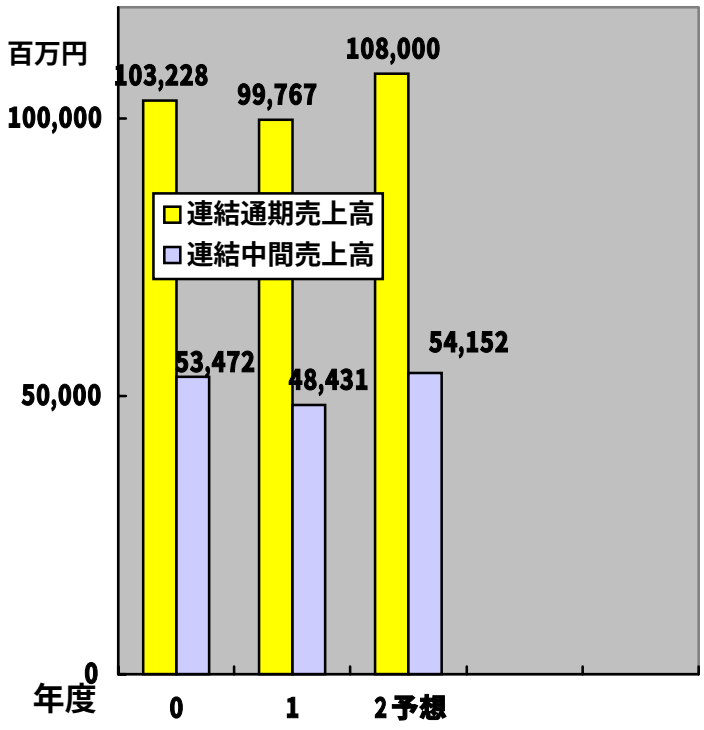
●ニュスリリースのお問い合わせは：　総務部広報担当　眞野成人

ご　参　考

連・単売上高推移（通期）

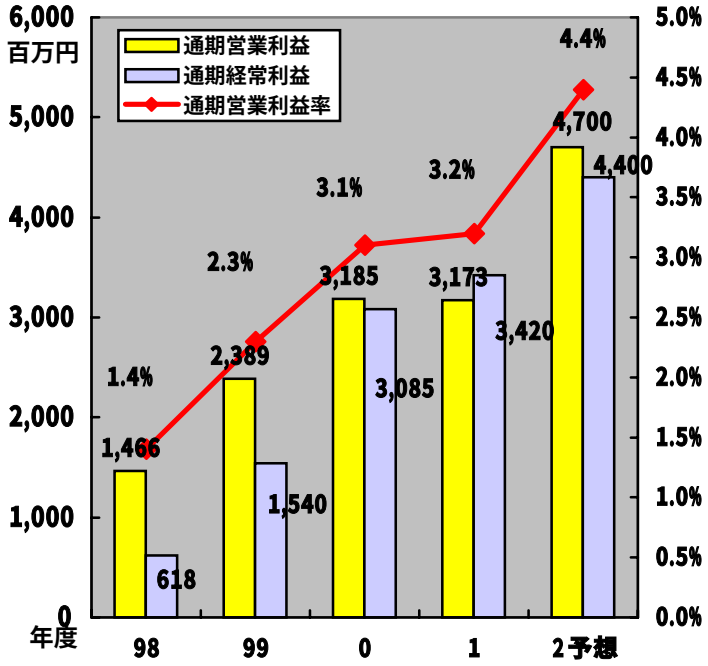
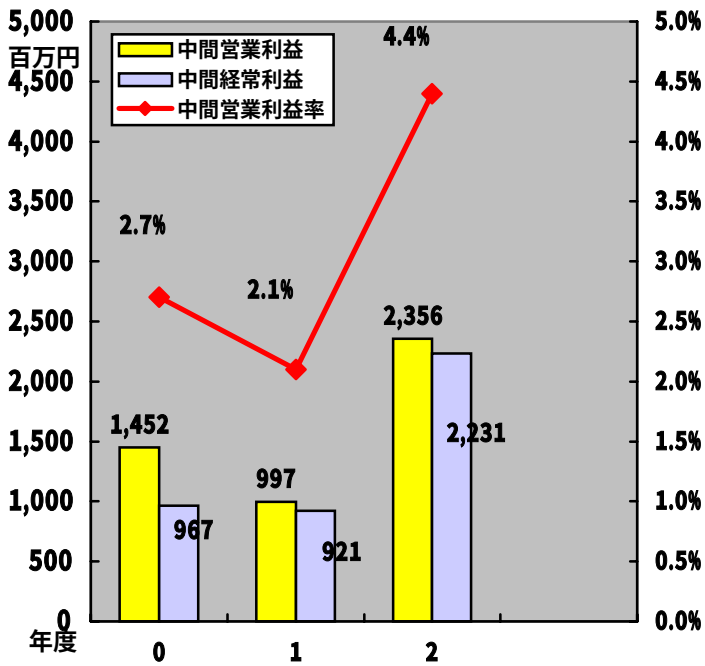


連結売上高推移（通期と中間期）



（注：２年度通期は予想、**中間期は実績**）

連結利益の推移（通期）



連結利益の推移（中間期実績）